

エコアクション21

# 環境経営レポート

2023年度

運用期間 2023年4月～2024年3月



## 株式会社ダイ産業

2024年6月29日 発行

## 【目次】

表紙

目次

### 1. 組織の概要

- 1) 事業者名及び代表者名
- 2) 所在地
- 3) 環境管理責任者
- 4) 連絡先(事務局)
- 5) 事業活動の内容
- 6) 適用事業範囲
- 7) 事業規模
- 8) EA-21推進組織図
- 9) 許可の内容及び施設の状況
- 10) マテリアルフロー
- 11) 受託した産業廃棄物収集運搬、処理処分の実績及び処理料金

### 2. 対象範囲

### 3. 環境経営方針

### 4. 環境経営目標

### 5. 環境経営計画

### 6. 環境経営目標の実績

### 7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

### 8. 環境関連法規等遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### 9. 代表者による全体評価と見直し結果

# 1. 組織の概要

## 1) 事業者名及び代表者名

株式会社ドイ産業  
代表取締役社長 土居 広実

## 2) 所在地

〒882-0024  
宮崎県延岡市大武町1323番地

## 3) 環境管理責任者

EA-21責任者： 矢山 博

## 4) 連絡先(事務局)

連絡担当者： 山本 正男 (管理部)  
TEL 0982-32-2435 FAX 0982-32-2485  
E-mail： doiidt.0002@gmail.com

## 5) 事業創立年月日

昭和52年11月10日(創立より46年)

## 6) 事業活動の内容

産業廃棄物収集運搬業 [ 廃プラスチック類 ]  
産業廃棄物処分業 [ 廃プラスチック類 ]

## 7) 適用事業範囲

適用事業場の所在地  
本社： 宮崎県延岡市大武町1323番地  
工場： 同上

## 8) 事業規模

項目	2023年度	単位
資本金	10	百万円
売上高	A	売上高区分
従業員数	16	人
床面積	375	m <sup>2</sup>
敷地面積	5,808	m <sup>2</sup>

売上高区分の定義

売上高区分 A：5億円未満

売上高区分 B：5億円以上10億円未満

売上高区分 C：10億円以上

## 9) 推進組織図



## 10) 許可の内容及び施設の状況

### ① 産業廃棄物収集運搬業許可証

県名	許可年月日	有効期限	許可番号	廃棄物の種類
宮崎	令和6.4.18	令和11.4.17	04518001742	廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 積替え保管場所 所在地：宮崎県延岡市大武町1323番104、1323番108 面積：450㎡ 種類：廃プラスチック類(廃タイヤに限る。) 保管上限：1,011.8㎡ 高さ：4.24m
熊本	令和元.8.29	令和6.8.12	04305001742	紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、廃プラスチック類
佐賀	平成31.8.18	平成36.8.17	04101001742	紙くず、木くず、ゴムくず、及びがれき類、並びに廃プラスチック類、金属くず、及びガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず
大分	令和6.4.11	令和11.4.10	04406001742	廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず等、がれき類
鹿児島	平成31.6.30	平成36.6.29	04606001742	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず
福岡	令和5.1.25	令和10.1.24	04000001742	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等、紙くず、木くず、がれき類
山口	令和6.4.8	令和11.4.7	03500001742	廃プラスチック類、金属くず

### ② 産業廃棄物処分業許可証

県名	許可年月日	有効期限	許可番号	廃棄物の種類
宮崎	令和4.1.4	令和9.1.3	04528001742	廃プラスチック類

### ③ 事業の用に供する車輛

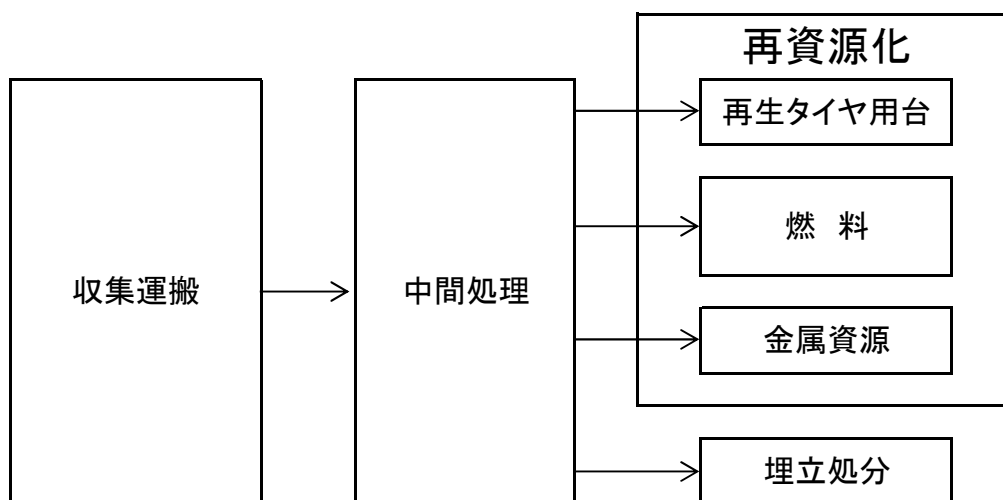
登録番号	積載量	車 両 名	用途〔○使用 ×未使用〕	
			収集運搬業用	処分業用
宮崎100さ6923	3.55t	バン	○	○
宮崎100す7510	3.15t	バン	○	○
宮崎100は3737	11.8t	キャブオーバ	○	○
宮崎480い7097	0.35t	キャブオーバ	○	○
宮崎100は4838	10.5t	キャブオーバ	○	○
宮崎100せ1022	3.1t	バン	○	○
宮崎100せ1548	2.8t	バン	○	○
宮崎100は4362	6.5t	キャブオーバ	○	○

④事業の用に供するすべての処理施設とその処理能力

No.	種 類	設 置 場 所	設 置 年 月 日	処 理 能 力	処 理 方 式
1	切断施設	延岡市大武町1323番174	昭和53年4月19日	4t/日(8時間)	切断
2	切断施設	延岡市大武町1323番174	昭和62年5月10日	3t/日(8時間)	切断
3	切断施設	延岡市大武町1323番174	昭和62年5月10日	4t/日(8時間)	切断
4	切断施設	延岡市大武町1323番174	平成8年7月1日	0.5t/日(8時間)	切断
5	切断施設	延岡市大武町1323番174	平成23年5月1日	4.8t/日(8時間)	切断
6	切断施設	延岡市大武町1323番155	平成24年8月1日	26.4t/日(8時間)	切断
		前処理施設①(ビード引抜機)			
		前処理施設②(ビード採取機)			
7	切断施設	延岡市大武町1323番174	平成29年9月1日	3.84t/日(8時間)	切断
8	破碎施設	延岡市大武町1323番174	令和元年9月13日	16t/日(8時間)	破碎

注)尚、処理する廃棄物の種類は、すべて「廃プラスチック類」(ただし破碎に関しては廃タイヤに限る。)

11)マテリアルフロー〔処理工程図〕



12) 受託した産業廃棄物収集運搬、処理処分の実績及び処理料金

①収集運搬、処理処分実績

(2023年4月～2024年3月)

処 理 方 法		品 名	処 理 区 分	処 理 量 (t)
収集運搬				3,904.73
中間処理	再資源化	廃タイヤ	再生タイヤ用台	835.63
			燃料	3,055.77
		金属類ホイール等	金属資源	13.33
		廃油	燃料	0.00
	埋立処分	残渣等	埋立処分	0.00

②処理料金

その都度、お見積り致します。(見積り無料)

## 2. 対象範囲

認証登録範囲	本社
事業活動	産業廃棄物処理工場 廃プラスチック類の収集運搬、中間処理
レポート対象期間	2023年4月1日 ~ 2024年3月31日
レポート発行日	2024年6月29日

### 3. 環境経営方針

## 環境経営方針

当社は、産業廃棄物処分業を営む事業所です。  
法令遵守を徹底し、常に良好な環境を目指して全社一丸となり  
継続的改善となるよう取り組みます。

1. 事業を通じて、積極的に環境保全活動に取り組みます。
2. 事業に関連する法令遵守を徹底します。
3. 事業において環境負荷の軽減のため以下の事項に取り組みます。
  - ① 受託した産業廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率の向上に努めます。
  - ② 省エネルギーに取り組み、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
  - ③ 事業所から排出される廃棄物の分別処理に取り組み、廃棄物の削減に努めます。
  - ④ 節水に取り組み、水資源使用量の削減に努めます。
  - ⑤ 資源の有効活用に取り組みます。
4. 環境方針を全社員に周知徹底を図るとともに、意識向上に取り組みます。

2021年4月1日改訂

株式会社ドイ産業

代表取締役 土居 広実

## 4. 環境経営目標

### 1) 2021年度からの中期(3ヶ年)環境経営目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。  
 なお、目標設定の基準値は2019,20年度の実績より算出しています。

取組項目 (目標項目)(単位)	実施区分	年度別環境経営目標			
		基準値 2019,20年度 実績より算出	2021年度	2022年度	2023年度
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2) ※1	全体	193,638.2	189,092.4	188,797.9	187,832.0
電気使用量の削減 (kWh)	※2		1.0%削減	1.0%削減	1.3%削減
	事務所	4,336.2	4,336.2	4,336.2	4,336.2
	工場	45,935.6	45,476.2	45,476.2	45,338.4
	全体	50,271.8	49,812.4	49,812.4	49,674.6
燃料使用量の削減 ガソリン(L)	全体	3,428.9	3,343.2	3,360.3	3,326.0
燃料使用量の削減 軽油(L)	全体	64,760.7	63,141.7	63,012.2	62,688.4
2. 廃棄物の削減			基準値以下	1.5%削減	1.5%削減
排出一般廃棄物(kg)	全体	260.0	260.0	256.1	256.1
受託廃棄物 リサイクル率の向上(%)	工場	リサイクル率の向上 99.0%以上	99.0%以上	99.0%以上	99.0%以上
3. 水資源使用量の削減(m <sup>3</sup> )			基準値以下	1.0%削減	1.5%削減
	全体	273.1	273.1	270.3	269.0

※1. 購入電力のCO2排出係数は、2019年度九州電力排出係数0.370kg-CO2/kWhを使用しました。

※2. 2021年度以降の事務所電気使用量の目標値は基準値以下としています。



## 2) 2024年度からの中期(3ヶ年)環境経営目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。  
 なお、目標設定の基準値は2022,23年度の実績より算出しています。

取組項目 (目標項目)(単位)	実施区分	年度別環境経営目標			
		基準値 2022,23年度 実績より算出	2024年度	2025年度	2026年度
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2) ※1	全体	190,898.4	189,558.6	188,178.4	187,173.1
電気使用量の削減 (kWh)	※2		1.0%削減	0.5%削減	1.0%削減
	事務所	3,729.1	3,729.1	3,729.1	3,729.1
	工場	31,968.6	31,648.9	31,808.8	31,648.9
	全体	35,697.7	35,378.0	35,537.9	35,378.0
燃料使用量の削減 ガソリン(L)	全体	4,994.8	4,969.8	4,919.8	4,869.9
	全体	64,214.7	63,765.2	63,251.5	62,930.4
燃料使用量の削減 軽油(L)	全体	64,214.7	63,765.2	63,251.5	62,930.4
	全体	64,214.7	63,765.2	63,251.5	62,930.4
2. 廃棄物の削減			1.0%削減	1.5%削減	1.5%削減
排出一般廃棄物(kg)	全体	133.0	131.7	131.0	131.0
受託廃棄物 リサイクル率の向上(%)	工場	リサイクル率の向上 99.0%以上	99.0%以上	99.0%以上	99.0%以上
3. 水資源使用量の削減(m <sup>3</sup> )			基準値以下	1.0%削減	1.5%削減
	全体	349.2	349.2	345.7	344.0

※1. 購入電力のCO2排出係数は、2022年度九州電力排出係数0.382kg-CO2/kWhを使用しました。

※2. 2024年度以降の事務所電気使用量の目標値は基準値以下としています。

## 5. 環境経営計画

事業活動における環境への負荷を低減するために、本社において以下のような活動を実施しています。

その達成状況や活動の実施状況を、3ヶ月毎にEA-21責任者が確認しています。

### 1) 電力使用量の削減

No.	活動内容	推進部門責任者	実施スケジュール
①	不在箇所、昼休み等の消灯の徹底	矢山 博	4月～3月
②	空調温度管理(設定温度遵守)	矢山 博	4月～3月
③	パソコンのオート電源オフ設定	矢山 博	4月～3月

### 2) 燃料使用量の削減

#### 「ガソリン」

No.	活動内容	推進部門責任者	実施スケジュール
①	エコドライブの徹底、ふんわりスタート、急加速等の禁止	矢山 博	4月～3月
②	車両管理の徹底(点検表等)	矢山 博	4月～3月
③	効率の良い配車[リフトスケジュール]	矢山 博	4月～3月

#### 「軽油」

No.	活動内容	推進部門責任者	実施スケジュール
①	エコドライブの徹底、ふんわりスタート、急加速等の禁止	矢山 博	4月～3月
②	車両管理の徹底(点検表等)	矢山 博	4月～3月
③	効率の良い配車[配車スケジュール]	矢山 博	4月～3月
④	重機管理の徹底(点検表等)	矢山 博	4月～3月

### 3) 廃棄物の削減

No.	活動内容	推進部門責任者	実施スケジュール
①	廃棄物の分別計量と記録	矢山 博	4月～3月
②	コピー用紙などの節減(裏紙使用等)	矢山 博	4月～3月
③	資材梱包材のリサイクル処理	矢山 博	4月～3月
④	受託した産業廃棄物の再資源化、リサイクル率の向上	矢山 博	4月～3月

### 4) 水資源使用量の削減

No.	活動内容	推進部門責任者	実施スケジュール
①	節水シールの表示	矢山 博	4月～3月
②	洗車時間の短縮	矢山 博	4月～3月

## 6. 環境経営目標の実績

環境経営目標に対する達成状況は以下のとおりです。

実績値は2023年4月～2024年3月までの1年間で、目標値は2019,20年度の実績より算出した値を基準とし削減率と基準値を設定しています。

(数値は小数点第2位以下四捨五入)

取組項目	基準値 2019,20年度実績より算出	2023年度目標値	2023年度実績	達成率 (%)	判定
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO <sub>2</sub> )	193,638.2	187,832.0	182,901.8	103%	○
電気使用量の削減 事務所 (kWh)	4,336.2	4,336.2	3,559.0	122%	○
電気使用量の削減 工場 (kWh)	45,935.6	45,338.4	29,373.0	154%	○
燃料使用量の削減 ガソリン (L)	3,428.9	3,326.0	4,849.3	69%	×
燃料使用量の削減 軽油 (L)	64,760.7	62,688.4	61,808.8	101%	○
2. 廃棄物の削減 (kg)(%)	260.0	256.1	131.0	195%	○
排出一般廃棄物及び 受託廃棄物のリサイ クル率の向上	受託廃棄物の リサイクル率の向上 99.0%以上	99.0%	100.0%	101%	○
3. 水資源使用量の削減 (m <sup>3</sup> )	273.1	269.0	345.0	78%	×

※ 購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、2019年度九州電力排出係数0.370kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用しました。

※ 尚、灯油使用量を含む二酸化炭素総排出量は、次のとおりとなります。

2023年度実績 183,215.5kg-CO<sub>2</sub>

## 7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営目標及び環境経営計画

### 1) 電気使用量の削減

機器稼働のON/OFFを細かく制御する工程見直しも実施、目標が達成されました。  
新設備の追加稼働については、次年度以降対応することとなります。

### 2) 燃料使用量の削減

ガソリン使用量増加は、事業内容の変化が要因となり、大きく変動しました。  
①フォークリフトの稼働増加。これまで専用BOXに中間処理後のカットタイヤをまとめていましたが、フォークリフトを使って自社ダンプへ積み込みをする頻度が増加しました。②大分県では大口となる廃タイヤ処分先が受け入れを停止したため、当社への引き合いが増加、契約等営業訪問にかかる営業車両の燃料消費が増加となりました。  
軽油の使用量については、引き続きエコドライブの周知徹底をドライバーに働きかけ、エンジン回転数抑制の取り組み等は一定の効果があったようです。

### 3) 廃棄物の削減

社員個人の私物ゴミ持ち帰り運動による意識啓発(特に使い捨て容器がその廃棄量に影響のあった配達弁当を再利用型弁当箱活用の業者変更に伴う削減)が目標達成となりました。

### 4) 水資源使用量の削減

水資源使用量の削減は、未達成となりました。中間処理後の排出品質基準について先方から要請があり、泥汚れなど水洗浄に係る使用量増加が突発的な要因となっています。

### 【次年度の環境経営目標及び環境経営計画】

次年度の目標値は、過去2年間の実績から算出した中期計画の削減目標とします。

又、事務所の電気使用量の目標値は、実績から算出した基準値以下とします。

環境経営目標 (目標項目)(単位)	実施 区分	2024年度	環境経営計画
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-co2)	全体	189,558.6	年度の目標は2022、23年度実績をもとに基準値として算出
電気使用量の削減 (kWh)	1.0%削減		①不在箇所、昼休み等の消灯徹底 ②空調温度管理(設定温度遵守) ③パソコンのオート電源オフ設定
	事務所	3,729.1	
	工場	31,648.9	
燃料使用量の削減 ガソリン(L)	0.5%削減		①エコドライブの徹底ふんわりスタート、急加速等の禁止 ②車両管理の徹底(点検表等) ③効率の良い配車[リフトスケジュール]
	工場	4,969.8	
燃料使用量の削減 軽油(L)	0.7%削減		①エコドライブ徹底ふんわりスタート、急加速等の禁止 ②車両管理徹底(点検表等) ③効率の良い配車[配車スケジュール] ④重機管理の徹底(点検表等)
	工場	63,765.2	
排出一般廃棄物(kg)	1.0%削減		①廃棄物の分別計量と記録 ②コピー用紙などの節減(裏紙使用等) ③資材梱包材のリサイクル処理 ④受託産廃再資源化、リサイクル率向上
	全体	131.7	
受託廃棄物 リサイクル率の向上(%)	工場	リサイクル率向上 99.0%以上	①受託した産業廃棄物の再資源化、リサイクル率の向上
3. 水資源使用量の削減(m <sup>3</sup> )	基準値以下		①節水シールの表示 ②洗車時間の短縮
	全体	349.2	

※1. 購入電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、2022年度九州電力排出係数0.382kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用しました。

※2. 2024年度以降の事務所電気使用量の目標値は基準値以下としています。

## 8. 環境関連法規等遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に関連する主な法規制は下表のとおりです。

関連法規等の遵守状況確認を毎年4回実施しており、違反はありませんでした。

また、地域住民からの訴訟等、及び監督官庁からの指摘もありませんでした。

主な適用法規	当社の対応	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 廃棄物の削減</li><li>・ 廃棄物の適正処置の確保</li><li>・ 産業廃棄物処理の委託契約</li><li>・ 産業廃棄物管理票の管理義務</li><li>・ 3号様式による県知事への報告</li></ul>	遵守確認済
道路運送車両法 (道路運送車両の保安基準)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自動車排気ガス規制基準の遵守</li></ul>	遵守確認済

## 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

確認実施日
2024年6月24日

No.	見直しに必要な情報	報告した情報内容・資料等	代表者による評価と指示事項																																				
1	環境への負荷・取組の自己チェック結果	産廃2017年版環境への負荷・取組チェックシートで説明報告	年度ごとの推移には今後も注視し、併せて取り組みの課題についても現場と予算のすり合わせを行なう。																																				
2	環境関連法規制等遵守状況の結果	環境関連法規制の取りまとめ〔兼〕遵守評価表で説明報告	取りまとめ〔兼〕遵守評価表に従い、もれなく完了出来た事を評価する。																																				
3	環境経営目標の達成状況 (2023年度)	環境経営目標達成状況管理表の実績で説明報告 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CO2排出量削減(kg-CO2)</td> <td>187,832.0</td> <td>182,901.8</td> <td>103%</td> </tr> <tr> <td>電気使用量削減事務所(kWh)</td> <td>4,336.2</td> <td>3,559.0</td> <td>122%</td> </tr> <tr> <td>電気使用量削減工場(kWh)</td> <td>45,338.4</td> <td>29,373.0</td> <td>154%</td> </tr> <tr> <td>燃料使用量削減ガソリン(L)</td> <td>3,326.0</td> <td>4,849.3</td> <td>69%</td> </tr> <tr> <td>燃料使用量削減軽油(L)</td> <td>62,688.4</td> <td>61,808.8</td> <td>101%</td> </tr> <tr> <td>一般廃棄物削減(kg)</td> <td>256.1</td> <td>131.0</td> <td>195%</td> </tr> <tr> <td>受託廃棄物リサイクル率向上(%)</td> <td>99.0%</td> <td>100.0%</td> <td>101%</td> </tr> <tr> <td>水資源使用量削減(L)</td> <td>269.0</td> <td>345.0</td> <td>78%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	実績	達成率	CO2排出量削減(kg-CO2)	187,832.0	182,901.8	103%	電気使用量削減事務所(kWh)	4,336.2	3,559.0	122%	電気使用量削減工場(kWh)	45,338.4	29,373.0	154%	燃料使用量削減ガソリン(L)	3,326.0	4,849.3	69%	燃料使用量削減軽油(L)	62,688.4	61,808.8	101%	一般廃棄物削減(kg)	256.1	131.0	195%	受託廃棄物リサイクル率向上(%)	99.0%	100.0%	101%	水資源使用量削減(L)	269.0	345.0	78%	全体としては、目標達成に向けた削減意識の高いレベルでの継続を評価したい。工場での設備稼働状況に大きな変動要素がない中、また更なるエコドライブの取り組みの中で細かい点に着目して削減につなげた取り組みは評価される。一部外的要因でフォークリフトの稼働増加や水使用量増加があったが、事業規模や構造変化に伴うものであり、次年度以降の新たな対策立案を行なっていく。
項目	目標	実績	達成率																																				
CO2排出量削減(kg-CO2)	187,832.0	182,901.8	103%																																				
電気使用量削減事務所(kWh)	4,336.2	3,559.0	122%																																				
電気使用量削減工場(kWh)	45,338.4	29,373.0	154%																																				
燃料使用量削減ガソリン(L)	3,326.0	4,849.3	69%																																				
燃料使用量削減軽油(L)	62,688.4	61,808.8	101%																																				
一般廃棄物削減(kg)	256.1	131.0	195%																																				
受託廃棄物リサイクル率向上(%)	99.0%	100.0%	101%																																				
水資源使用量削減(L)	269.0	345.0	78%																																				
4	環境経営計画の実施状況	環境経営計画表および環境経営計画実施状況管理表により説明報告	実施状況の詳細について確認した。引き続き活動を継続のこと。																																				
5	教育・訓練実施結果	環境教育・訓練計画/実施結果により報告	要員の入れ替えも進んでいるので、継続反復して不備のない教育を実施したい。																																				
6	苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション結果	当年度の苦情、クレーム等無し	苦情やクレーム等があれば各担当者にすぐ連絡し対応する。今後も事故等の発生時には迅速に対応するよう指示する。																																				
7	緊急事態の準備及び訓練結果	緊急事態の想定と対応手順と訓練結果等	社員の生命に関わる事なので、今後も継続して実施するよう指示する。																																				
8	問題点の是正・予防処置の状況	問題点の是正・予防処置報告書等	今後も問題点が発生したら、速やかに是正や再発防止・予防処置を講ずるよう指示する。																																				
9	環境関連文書類の作成・管理 〔環境経営レポートを含む〕	環境関連文書類で報告	文書類は誰でも見れるように保管するよう指示する。																																				
10	環境経営方針	現在の方針で活動を継続するが、ガイドラインの更新に合わせて変更等は検討していく。																																					
	環境経営目標	2023年度は3ヶ年中期環境経営目標の最終年度であり、2024年度より立案の新たな3ヶ年中期環境経営目標にて変動項目に対応することとする。																																					
	環境経営計画	現在の環境経営計画の方針で活動を継続するが、ガイドラインの更新に合わせて変更等は都度検討していく。																																					
	その他	今回は特になし。																																					
	前回の指示への取組結果	今回は特になし。																																					
	実施体制	現行の組織体制で問題点や課題もなく継続中。																																					